



職場選び3つのポイント!



法人・施設紹介

基本理念は「人間を大切にすることがすべての根元である」です。この『人間』はご利用者様はもちろんですが、職員に対しても向けられています。一人ひとりが末永く安心して働いて頂けるよう法人運営しております。



職場コミュニケーション
職場の人間関係を良くするために
多職種とのコミュニケーション豊富!
介護士や看護師をはじめ他職種との連携やコミュニケーションが取れており働きやすい職場です。上長との定期的な面談もあるので、そこで様々な相談もできます。また、不安や悩みがあれば産業医の個別面談を受けることもできます。



スタッフの声

Staff Voice!

未経験でも丁寧に指導をしてもらえて、夜勤もお仕事为抓手りできるようになってから入るのでとても安心です。介護士と看護師のチームワークが良く、職種の垣根がないのでとても働きやすい環境です。

キャリアアップ
新人職員へのサポート
チューター制度導入! 夜勤も安心!
新入職員集合研修をはじめ、経験の少ない新卒や中途職員の様々な不安を解消する目的で、チューター(世話役)制度を採用しています。夜勤についても業務をしっかりと覚えてから入っていただくので、安心して働くことができます。

中堅・ベテランスタッフへのサポート
積極的にスキルアップ可能!
それぞれの立場や役割に応じた階層別研修を実施しております。また外部研修や法人内研修に参加する事で、積極的なスキルアップを目指すことができます。

資格取得支援
8種類の資格取得補助金あり!
実務者研修・社会福祉主事、喀痰吸引等研修などの受講費用半額補助をはじめ、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・調理師の受験費用全額補助があり、働きながら安心して資格を取得することができます。

ライフスタイル
結婚・出産・妊娠・育児のサポート
産前産後休暇がそれぞれ8週間!
法人や互助会からの各種祝い金のほか、産休が産前8週産後8週と長いことが特徴です。また育休の取得率や育児時短を使いながらの復帰率が100%です。木戸病院内の託児所「いちご畑」も割引料金で利用できます。

給与面で工夫している点
毎月の処遇改善3.5万円以上!
基本給は介護以外の経験も含めた職歴を考慮の上、決定しています。処遇改善手当は月額21,000円で、特定処遇改善手当や処遇改善支援金も毎月支給。住宅手当・扶養手当は国公準拠なので高水準の支給です。退職金制度も完備です。

休日面で工夫している点
時間単位で有給取得可能!
年間休日115日(令和4年度)+リフレッシュ休暇4日です。有給休暇は6ヶ月経過後、入職時期に応じて10~15日付与、翌4月1日には16日付与されます。有休が『時間単位』で使用できるのも特徴です。

社会福祉法人 亀田郷芦沼会 特別養護老人ホーム 風の笛



募集職種 ▶ 介護職員(正職員)3名【内訳:特養2名・ショート1名】
給与 ▶ 170,033円~292,273円(処遇改善手当・特定処遇改善手当・処遇改善支援金含む)+夜勤手当等 ※法人給与規程に基づく
仕事内容 ▶ 入浴・食事・排泄などの介護業務全般
資格 ▶ 不問(初任者研修などあれば尚可)
勤務時間 ▶ 7:20~16:00、10:40~19:20、16:00~翌9:00(ユニットにより若干の変動あり)
休日 ▶ 令和4年度 年間休日115日(シフトによる)+リフレッシュ休暇4日
待遇・福利厚生 ▶ 社保完備、退職金制度あり(福祉医療機構退職共済制度、新潟県民間社会福祉職員退職積立制度)、賞与年2回(前年2.2ヶ月)、住宅手当(上限28,000円)、扶養手当(配偶者6,500円、子1名につき10,000円 ※15~22歳はプラス5,000円)

問い合わせ
※電話の際に「コマチの介護フリーマガジンを見た」とお知らせください。
求人問い合わせ電話番号 (担当:人事課 沖村)
0256-82-1822
社会福祉法人 亀田郷芦沼会
新潟市東区はなみずき2-3-7
jinji@ashinuma.com



社会福祉法人 亀田郷芦沼会 特別養護老人ホーム 風の笛



一般社団法人 新潟地域福祉協会
理事長 岡田 史さん

介護プロが、
介護プロのCHECK!

「風の笛」という名称は、「地域の方々に利用者様やご家族」の声を「風」に例えて、その声を実現できるように努力することを「笛」と例えているところからきています。一人ひとりは異なる風をもっており、その「風」を気持ちよい笛の音色にして奏でます。それは、「生活は一人ひとり異なる考え(ニーズ)によって成り立っている(風)、その生活を支援する方法(笛)はニーズに基づいて奏でている」と言い換えることができると思っています。「風の笛」の介護に対する考え方は、このような一人ひとりを大切にするという考えに基づいています。

1 施設名「風の笛」に
込められた想い



一人ひとりに必要な介護を把握する役割として担当制を設けていて、その担当者が利用者の生活のなかから、望みや困りごとを把握します。そのニーズを実現するために、ユニット会議やケース会議など、介護職員会議や会議の種類によっては、介護職員だけでなく施設で働く全職員が参加する会議のなかで、話し合っ解決を図っています。時には、利用者への介護がこれよりよいかと不安にかられる居室担当者もいるのではないのでしょうか?と聞いてみたところ、きめ細かな会議のなかで話を聞いて不安を共有しているとのことでした。

2 個別支援を
きめ細かく

3 家族会からの
支援



新採用された職員には、家族会からネーム入りペンがプレゼントされます。新採用時には、経験がない人はもちろんですが、どのような経験者であっても新たな職場では不安です。このように、家族会からのプレゼントによって応援されることも大きな力付けになると思います。

課題・目標



子育て中を支援する職場

女性職員への産前産後や育児中の支援については、取りやすかったり頼みやすかったりという職場全体で支援する雰囲気ができています。それだけではなく、男性職員が、育休取得をしやすい職場環境だということも「風の笛」の特徴ではないかと思えます。現在3人ほどの男性の育休の申し込みがあるとのことでした。利用者の生活をしっかりと支え、支える職員の生活が守られているというみんなのQOLが高まるような努力が感じられました。